

| 教育的価値 | 具 体 の 項 目 | 教育課程 |
|---------|--|------------------|
| 2【かかわる】 | ⑪【ボランティア】 震災被災者への支援事業に参画し、交流を通して、被災者の喜びを自分の喜びとして共感する。 | 生活科 総合的な学習の時間 |

【題材】 震災被災者との交流会

八幡平市は宮古市と姉妹都市関係にあることから、宮古地域の震災被災者リフレッシュ宿泊事業を行っている。この復興支援事業の中に小学生との交流をという市観光協会からの提案を受けて、震災でつらい思いをされた被災者の方々を元気づけようとする気持ちを育成することを視点として交流会を実施した。

- 【対象】** (1) 震災被災者との交流会（低学年） 1学年： 9名 2学年： 22名
 (2) 震災被災者との交流会（中学年） 3学年： 18名 4学年： 15名
 (3) 震災被災者との交流会（5学年） 27名

【実践の概要・詳細】

(1) 震災被災者との交流会（低学年）

①事前学習（東日本大震災について 交流会のめあてについて）

・発表の準備，練習

②交流会（11月14日（金）3，4校時 松野小体育館）

《第1部：学年発表》

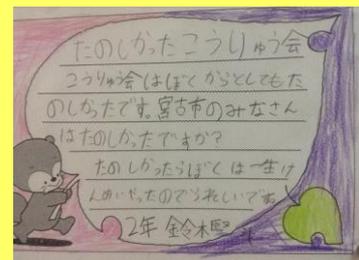
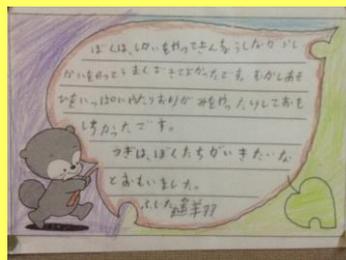
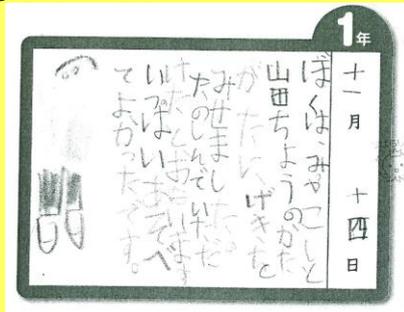
1年生は学習発表会で演じた音楽劇を、2年生は音楽科で学習した歌と合奏を発表した。

《第2部：交流》

被災者90名、1，2年生31名が9グループに分かれて、自己紹介をし、一緒に昔遊びをして楽しんだ。



③ふりかえり



(2)震災被災者との交流会(中学年)

①事前学習(東日本大震災について 被災地について 交流会のめあてについて)
・発表の準備, 練習

②交流会(11月27日(木) 3, 4校時 松野小体育館)

《第1部: 学年発表》

学習発表会の際に3, 4年生合同で発表した合唱・合奏を再構成して発表した。



《第2部: 交流》

被災者68名、3, 4年生33名が9グループに分かれて、自己紹介をし、一緒に交流ゲームをして楽しんだ。



《第3部: 詩と歌のプレゼント》

「被災者の方々が元気になるように」という願いを込めて、4年生から詩と歌のプレゼントを贈った。

③ふりかえり

宮古から来た人を元気にすることができてよかったです。交流の時の笑顔が見られたからほっとしました。

お見送りの時に、泣きながら握手したお客さんの手は温かかったし、その顔はやさしい表情でした。今日はぜひいに忘れない日になりました。

かたもみのとき、「ありがとうね。」とおじいさんと、おばあさんがよるこんでくれました。

最後の握手のとき、中には泣いていたひとや「楽しい時間をすごせたよ。ありがとう。」などと言ってくれるひとがいて嬉しかったです。



参加者から

先日の松野小学校との交流会は大変うれしく楽しかったですよ。子供たちの澄んだ歌声に感動しました。又、ゲームでのふれあいでは、遠くに離れ住む孫たちの事を重ねあわせて時間が過ぎるのがあつと言う間でした。

(3)震災被災者との交流会(5学年)

5年生は、いこいの村岩手で行われた「餅つき体験」に参加し交流した。餅つきには、昨年度に引き続き総合的な学習に時間で栽培・収穫した餅米を提供した。

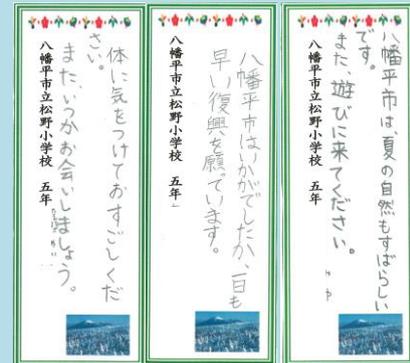
- ①事前学習（東日本大震災について 被災地について 交流会のめあてについて）
・メッセージ作成，準備
- ②交流会（12月17日（水）3，4校時 いこいの村岩手）

《餅つき体験・交流》

被災者80名、5年生27名が9グループに分かれて、自己紹介をし交流をした。餅つきの場面では、被災者に混じって5年生も一人ずつ餅をついた。5年生は、つき上がった餅を自ら進んで取り分けたり、お代わりの餅を取りに行ったりと、被災者をおもてなししようとする姿が見られた。

また、事前に準備した正月用の鏡餅に5年生がメッセージを書いた短冊を添えて、被災者一人一人に手渡しをした。

〈鏡餅に添えたメッセージ〉



③ふりかえり

私は、人と話すことが苦手だけど、被災者の人を喜ばせたいと思ったので自分から話しかけました。また会う機会があったら、たくさんお話ができるようにしたいです。

かがみもちをわたし、「ありがとう。」と言われたときは、とてもうれしかったです。これからは、自分にできることをよく考えて行動したいです。

私は、今まで復興や被災者のことをあまり深く考えていなかったけれど、これからはそのことにも少しずつ目を向けて、一日でも復興が早くなるように協力していこうと思いました。

| 教育的価値 | 具 体 の 項 目 | 教育課程 |
|--|--|-----------|
| 2【かかわる】 3【そなえる】 | ⑭【復旧・復興へのあゆみ】 宮古市田老地区の被害の様子を見学し、産業、住宅やまちの復旧・復興の状況を知ると共に、復興への人々の思いや願いを聞き、自分たちができることを考える。 ⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】 東日本大震災津波の様子と宮古市田老地区の被害の状況について調べる。 ⑰【自然災害の歴史】 三陸沿岸地域を襲った津波について調べ、津波被害と共存してきた人々の努力や工夫などについて知る。 | 総合的な学習の時間 |
| <p>【題材】 総合的な学習の時間「知ろう被災地の復興への歩み」</p> <p>【対象】 6学年： 25名</p> <p>【実践の概要・詳細】</p> <p>(1) 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被災地域の歴史や震災被害の様子、復興の様子を調べ、被災地の状況を知る。 ○ 仮設住宅入居者と交流し、復興への人々の思いや願いを考える。 ○ 調べたことを発信し、自分たちができることを考える。 <p>(2) 指導時数 14時間扱い</p> <p>1次（5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮古市田老地区の暮らしや歴史について調べ、人々の津波に対する思いについて考える。 ○ 田老地区における東日本大震災津波の被害について調べ、被害の様子を知る。 ○ 田老地区の復興の様子について調べる。 <p>2次（6時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 田老地区を見学し、仮設住宅居住者と交流する。 <p>3次（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことについてまとめ、他学年や保護者に発信する。 <p>(3) 被災地訪問</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>昨年度行われた震災被災者リフレッシュ宿泊事業の「餅つき体験」の際に餅米を提供したことがきっかけとなり、グリーンピア三陸宮古仮設住宅の方々とのつながりができた。かねてから6年生に被災地を実際に見せたいという思いもあり、宮古市田老地区に出かけ、被災地の見学とグリーンピア三陸宮古仮設住宅の方々との交流を実施した。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 期 日 10月31日(金) ○ 場 所 宮古市田老地区 及び グリーンピア三陸宮古 ○ 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 田老町内防潮堤より町内を見学しながら被災者の体験談を聞く。 ・ グリーンピア三陸宮古にて仮設住宅居住者と交流する。 | | |

《宮古市田老地区防潮堤見学》

田老地区防潮堤に登り、上から防潮堤や町の様子を見学した。当日は、宮古市社会福祉協議会の佐々木良子さんから、防潮堤やその被害の様子、津波襲来当時の状況、自身の体験談、復興に向けてのまちづくりの様子などについてのお話を聞いた。児童は、防潮堤の高さを実感すると共に、それを乗り越えてきた津波の大きさや恐ろしさを感じ取ることができた。



《グリーンピア三陸宮古仮設住宅居住者との交流》

防潮堤見学の後、グリーンピア三陸宮古に移動して仮設住宅の方々と対面した。敷地内にある会場に着くと、20名程の方々が笑顔で歓迎してくれた。当日は朝からカレーライスとサケ汁を準備してくださり、あいさつをして昼食をごちそうになった。カレーの中に入っているじゃがいもは本校4年生が栽培したもの。6つのテーブルに分かれて、自己紹介や学校のことなどを話しながらの食事だった。

食後は、事前をお願いしていた質問事項を中心に、田老のことや震災の体験談、仮設暮らしの様子や今後のことなどについて、たくさんのお話を聞くことができた。最後にお礼の気持ちを込めて合唱をプレゼントした。仮設住宅の方々は、児童の訪問をととても喜んでくださり、アクセサリや海産物などのお土産をたくさんいただいた。



《まとめの個人新聞づくり》

被災地訪問で学んだことや授業で調べたことなどをもとに、個人新聞をつくり発信した。新聞づくりを通して、児童は自分たちは復興のために何ができるかについて考えることができた。

